

- 1 主 題 友達の気持ちになって <2-(3) 友情・助け合い>
- 2 資 料 名 「一りん車」 出典：どうとく きみがいちばんひかるとき (光村図書)
- 3 本時の指導

- (1) ねらい
 - ・ ようこさんの気持ちを考えさせることを通して、仲間を思いやり、相手の気持ちを考えて行動しようとする気持ちを育てる。
- (2) 準 備
場面絵、センテンスカード、ワークシート
- (3) 指導過程

区分		学 習 活 動	指導上の留意点・支援
方向 づ け る	3 分	1 友達がいてよかったと思った経験を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一緒に遊んだとき ・ 困ったとき手伝ってくれた 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達との関わりの場면을想起させ、資料への方向づけをする。 ・ そのときの気持ちも発表させ、友達のよさに気づかせる。
価 値 の 追 究 把 握 ・ 自 己 の 生 き 方 の 実 感	39 分	2 本資料を聞き、話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 先生におくれたわけを話しているゆたかくんを見て、ようこさんはどうおもったでしょう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゆたかくん、かわいそうだな。 ・ 1年生を助けていて遅くなったんだ… ・ 私が使っていた一輪車を片づけてくれていたのかな。 ・ 私の一輪車を片づけてくれてありがとう。 ・ 遅れた理由があったのに、あんなに怒らなければよかった。 ・ ごめんね、ゆたかくん。 <p>3 自分の考えに近い意見を選び、挙手をする。その意見を選んだ理由や、さらに詳しく付けたしたいことを考え、発表する。</p> <p>4 級友の意見や資料の続きを聞いた上で、感じたことなどをワークシートに書き発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の様子が視覚的に分かるように、場面絵やセンテンスカードを提示しながら教師が読み語りをする。 ・ 本時の発問につながる重要なできごとはゆっくり強調して読む。 ・ 発言は、分類しながら板書する。 <p>多様に出た意見は、整理しながら板書する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どんな考えも共感的に受け止め、板書する。 ・ 理由を述べたり付けたしをしたりすることで、自分の考えの根拠を確かめたり、自分の考えと比較したりする。 <p>【教師の切り返し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ようこさんはどうしたらよかったと思う？ ・ 何に対して「ごめんね」なの？ ・ 自分がようこさんだったら、どうしたと思う？ <ul style="list-style-type: none"> ・ 「はっとした」「なるほど」「いいな」と思った級友の発言や、最初の考えと変わったかどうか、これから自分はどのようにしていきたいかなど、素直に感じたことを書かせる。 ・ 級友の発表を聞いて、思ったことや感じたことがあれば、その都度発表させる。
ま と め	3 分	5 教師の説話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級の日常生活の中で目にした事例を紹介し、相手の気持ちを考えた行動をすることの大切さに気づかせる。

- 4 反 省
- 5 ご 高 評

板書計画

黒板

<ul style="list-style-type: none">・ともだちの話をさいごまで聞く・すぐにおこらない↓あいつの気持ちもかんがえて・じぶんでつかったものは、じぶんでかたづけ・先生に正しきと言う	オ エ ウ イ ア	一りん車 先生におくれたわけを話している ゆたかくんを見て、ようこさんは どうおもったでしょう。
---	-------------------------------	---

ホワイトボード

場面絵 ③	場面絵 ②	場面絵 ①	一りん車
センテンス カード			